

富山駅周辺整備事業の事業化スケジュールについて

事業化の経緯とスケジュール

年度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
富山駅周辺整備事業 推進協議会		○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6	第7回					
富山駅周辺景観デザイン 検討委員会		[Bar]											
主要事業	新幹線	[Bar]										◎開業予定	
	連立事業 (在来線)	[Bar]										◎完成予定	
	土地区画整理事業	◎事業認可	換地設計			◎仮換地指定	[Bar]						
広場工事等	南口仮広場工事				[Bar]								
	南口駅前広場工事					[Bar]							
	西口交通広場工事								[Bar]				
	北口駅前広場工事										[Bar]		
備考													

第6回推進協議会における主な意見

1) 高架下空間の利活用に関すること

指摘事項	対応
(改札、乗換え改札、自由通路など) 平面図だけでなく断面図等を用いてイメージが伝わるように示して欲しい。	アイソメ図を作成し、立体的なイメージを提示。
観光案内や待合室については、利用者から十分に認知されるつくりになるよう配慮が必要である。観光案内等の機能については部分的に自由通路上に配置せざるを得ないのではないかとと思う。	観光案内機能については、自由通路の活用も含め、配置案を提示。
自由通路については、反対側の駅前広場や街並みが見えるようにし、閉鎖的なビルの中に入るような印象にならないように配慮して欲しい。	自由通路には原則として固定的な設置物を設けず、南北間が見通せる開放的な空間とする方針を提示(第6回協議会資料で提示済み)。
「これが富山の駅」という感覚がもうひとつ感じられないため、人の流れが一番多い場所にそのような工夫が必要ではないか。富山の良いもの、伝統文化関連の施設等を配置するような大胆な構想を持っても良いのではないか。	高架下空間における富山らしさの演出方法については、今後、駅舎や駅前広場の具体化にあわせて検討。 新幹線ラッチを出たらすぐ目の前にLRTが存在しているということが富山駅の特徴であり、自由通路の空間的なしつらえ等について今後検討。
「WESTブロック」と「EASTブロック-A」は、機能として重なっているため、この2つのブロックをあえて性格分けを行うのか、同様の機能を配置させるのかについては整理が必要ではないか。	「WESTブロック」と「EASTブロック-A」については、機能的に類似する部分があるものの、人の流れとの関係を踏まえ、性格分けを行う方向で検討。

2) 交通広場に関すること

指摘事項	対応
仮設広場の線形(交差点出口部分)として、交通処理の面だけでなく、利用者・乗客の立場を考える必要がある。	交通管理者協議を踏まえ、出入り口など変更済み
仮設広場について交通事業者から問題点が挙げられていることもあり、できるだけ基本線を崩さないようにしつつ、安全面、利便性が高まるようであれば意見を取り入れつつ詳細設計を進めて欲しい。	交通事業者と協議をしつつ設計を行った
シェルターの設置範囲として電鉄富山駅前部分は、消防活動への配慮からシェルターの設置が難しいが、バスや新幹線駅の乗り継ぎを考慮すると、何らかの配慮が必要であるため、上手い処理を考えて欲しい。	電鉄富山駅との高低差処理とあわせて今後検討する
シェルターにガラスを用いる場合、融雪方法や、夏の暑さ(遮光性)への配慮が必要である。	ガラスの処理について、太陽電池の組み込みなども含めて、今後検討する

